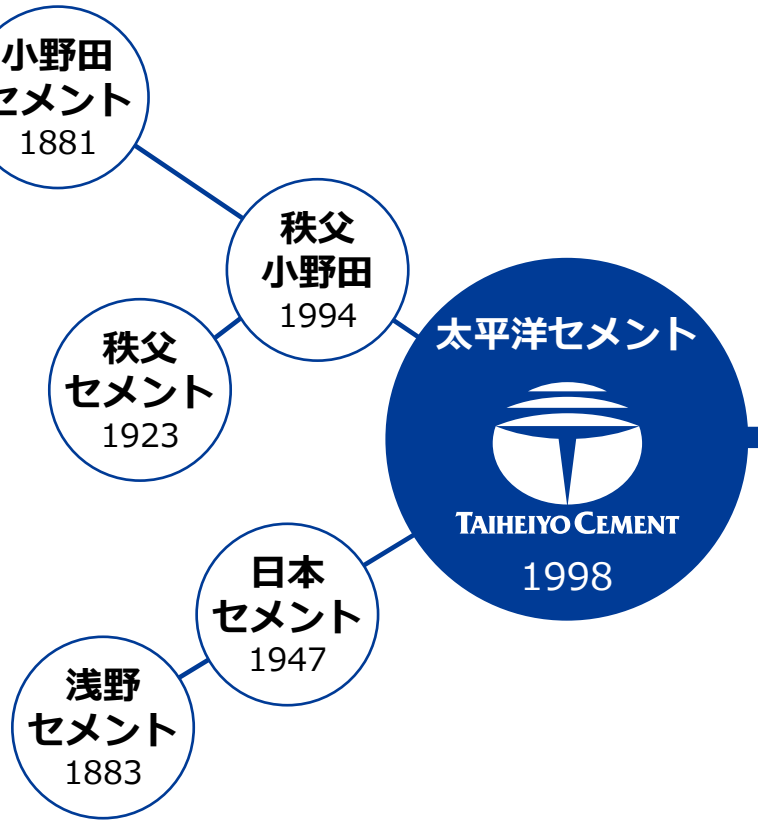
2026年度第２四半期（中間期）　決算説明資料

2026年11月10日

太平洋セメント株式会社

会社概要



グループ経営理念

太平洋セメントグループは、

持続可能な地球の未来を拓く先導役をめざし、

経済の発展のみならず、

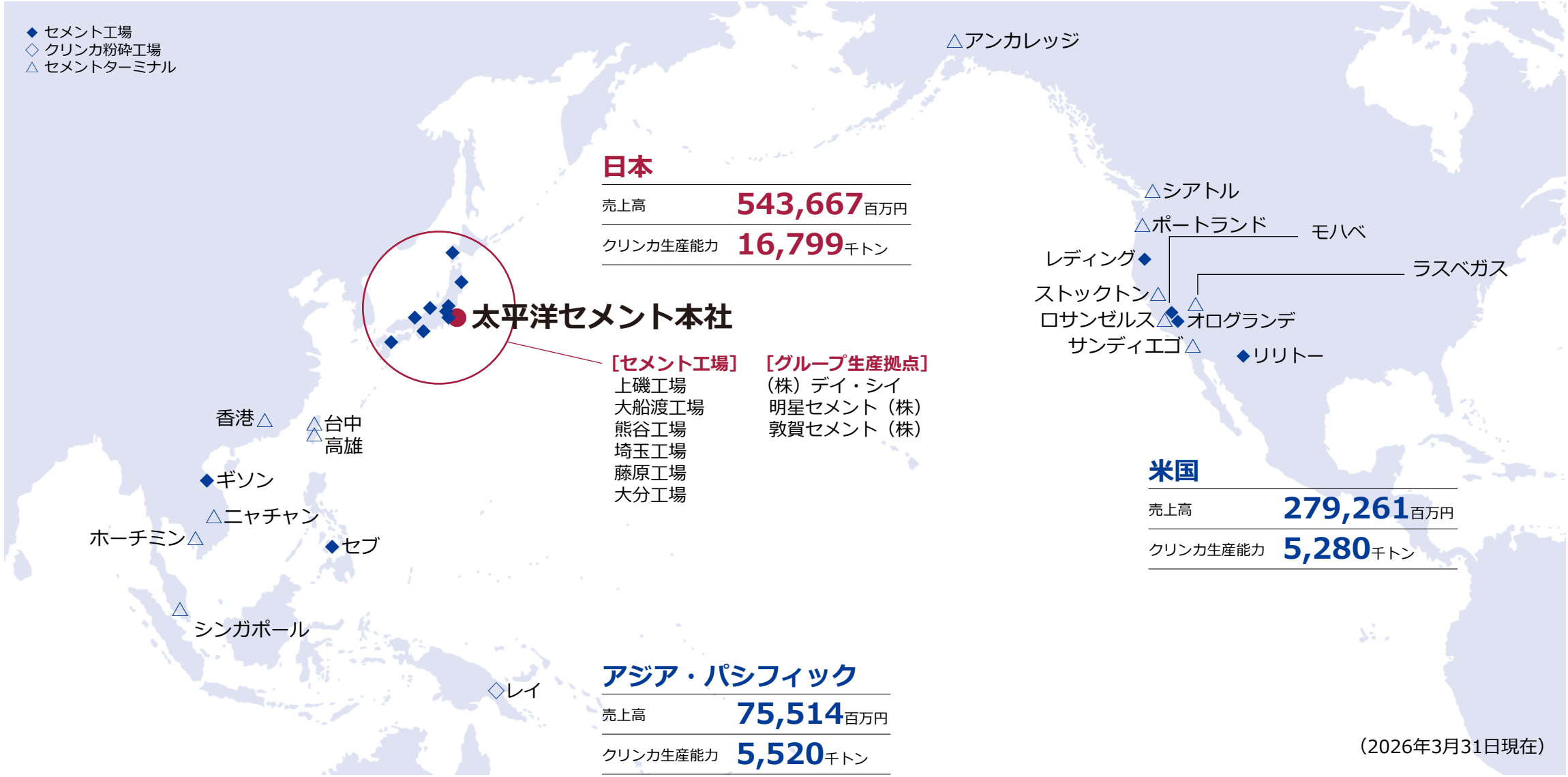
環境への配慮、社会への貢献とも調和した事業活動を行います。

設立	1881年5月3日
資本金	86,174百万円
本社所在地	〒112-8503　東京都文京区小石川1-1-1　文京ガーデンゲートタワー
従業員数	連結：12,626名　単体：1,783名（出向含まず）
子会社	197社（うち連結子会社 128社、持分法適用非連結子会社 5社）
関連会社	103社（うち持分法適用関連会社 36社）

（2026年3月31日現在）

2026©TAIHEIYO CEMENT

進出地域



日本

売上高	543,667百万円
クリンカ生産能力	16,799千トン

［セメント工場］
上磯工場
大船渡工場
熊谷工場
埼玉工場
藤原工場
大分工場

［グループ生産拠点］
（株）デイ・シイ
明星セメント（株）
敦賀セメント（株）

米国

売上高	279,261百万円
クリンカ生産能力	5,280千トン

アジア・パシフィック

売上高	75,514百万円
クリンカ生産能力	5,520千トン

（2026年3月31日現在）

2026©TAIHEIYO CEMENT

目次

1. 連結決算ハイライト　P.5

2. 2026年度第2四半期実績　P.8

（1）セグメント情報　P.9

（2）連結損益計算書　P.13

（3）連結貸借対照表　P.14

（4）連結キャッシュ・フロー計算書　P.15

3. 2026年度業績予想　P.16

（1）連結損益計算書　P.18

（2）セグメント情報　P.19

4. 株主還元　P.23

Appendix（参考資料）　P.25

2026©TAIHEIYO CEMENT

1. 連結決算ハイライト

2026©TAIHEIYO CEMENT

1. 連結決算ハイライト

《決算サマリ》

- 国内セメントは、販売価格値上げ通年寄与、子会社損益改善の一方、中東情勢影響等によるコスト増加で営業利益減
- 海外子会社等は、米国の減益の一方、東南アジアの改善により営業利益増
- 全社では、固定資産売却益もあり増益

（単位：百万円）

	2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減
売上高	438,141	**469,278**	+31,137
営業利益	32,853	**30,318**	▲2,535
経常利益	32,946	**28,726**	▲4,220
親会社株主に帰属する中間純利益	24,485	**36,748**	+12,263
1株当たり中間配当（円/株）	50	**60**	+10

2026©TAIHEIYO CEMENT

1. 連結決算ハイライト

《主な指標》

	2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減
売上高営業利益率（%）	7.5	**6.5**	▲1.0
1株当たり中間純利益（円）	219.7	**334.6**	+114.9

	2025年度末	2026年度 第2四半期末	増減
1株当たり純資産（円）	6,098.1	**6,485.5**	+387.4
自己資本比率（%）	46.0	**42.9**	▲3.1
ネットDEレシオ（倍）	0.48	**0.60**	+0.12

《環境要因》

	2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減
為替平均レート（円/$）	148.4	**158.3**	+9.9
国内輸入石炭等調達価格（C&F $/t）	135	**150**	+15

2026©TAIHEIYO CEMENT

2. 2026年度第2四半期実績

2026©TAIHEIYO CEMENT

2.　2026年度第2四半期実績

（1）セグメント情報

（単位：百万円）

		売上高			営業利益		
		2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減	2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減
セメント	国内	162,640	**168,663**	+6,023	11,290	**8,400**	▲2,889
	海外子会社等	164,091	**181,174**	+17,083	9,895	**10,258**	+364
	計	326,731	**349,837**	+23,107	21,184	**18,659**	▲2,525
資源		45,303	**46,421**	+1,118	5,190	**5,511**	+320
環境		39,909	**43,727**	+3,818	4,516	**4,845**	+329
建材・建築土木		21,470	**20,876**	▲594	917	**151**	▲765
その他		35,471	**40,009**	+4,538	1,103	**1,316**	+213
計		468,884	**500,871**	+31,987	32,910	**30,482**	▲2,428
内部消去		▲30,743	**▲31,593**	▲850	▲57	**▲164**	▲107
連結		438,141	**469,278**	+31,137	32,853	**30,318**	▲2,535

2026©TAIHEIYO CEMENT

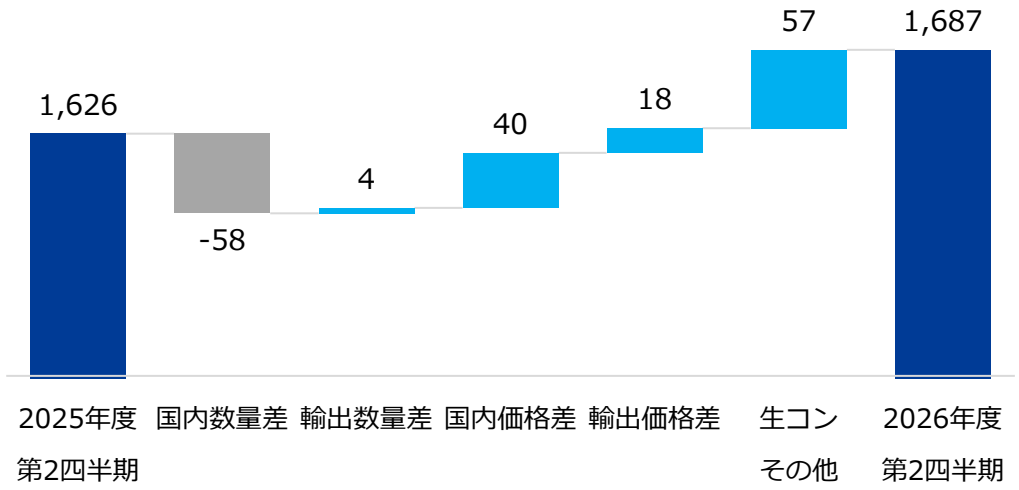
2. 2026年度第2四半期実績

①セメント国内

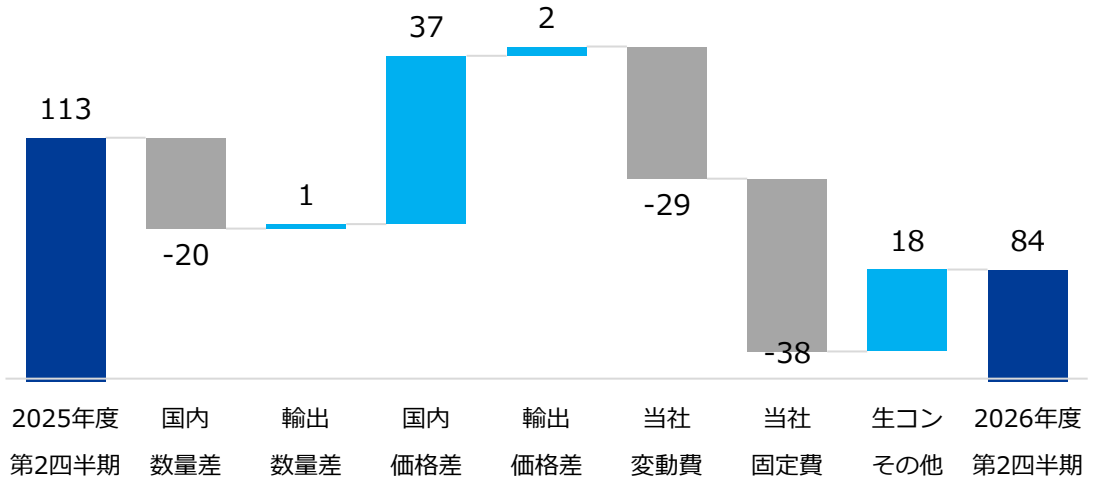
	2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減
販売数量（千t）			
国内	5,656	**5,263**	▲393
輸出	1,643	**1,719**	+76
売上高（百万円）	162,640	**168,663**	+6,023
営業利益（百万円）	11,290	**8,400**	▲2,889

- 生コン協同組合の週休二日制導入拡大、現場作業時間の減少に伴い国内需要減少。当社セメント販売数量も減少。
- 販売数量減の中、セメント・固化材の販売価格の値上げ通年寄与、子会社損益改善の一方、中東情勢の影響によるコスト上昇、固定費増加により営業利益減。

売上高（億円）



営業利益（億円）



2026©TAIHEIYO CEMENT

2. 2026年度第2四半期実績

②海外子会社等

《米国》

	2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減
セメント（千t）	2,962	**2,900**	▲62
生コン（千cy）	2,381	**2,584**	+203
骨材（千t）	6,032	**5,700**	▲332
売上高（億円）	1,392	**1,532**	+140
売上高（百万$）	(938)	(968)	(+30)
営業利益（億円）	122	**100**	▲22
営業利益（百万$）	(82)	(63)	(▲19)

- 需要は悪天候及び金利高止まりに伴う民間部門の減速、また、中東情勢による燃料費アップ等の影響を受けた。
- セメント・生コン・骨材ともに値上げに取り組む一方、コスト上昇の影響で、対前期比増収減益。
- カリフォルニア地区の生コン事業買収は6月上旬にクロージング。

《アジア他》（連結子会社単純合算）

	2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減
セメント（千t）	3,722	**3,697**	▲25
売上高（億円）	281	**296**	+15
営業利益（億円）	▲15	**11**	+27

- （ベトナム）堅調な国内需要を背景に増収増益。
- （フィリピン）厳しい競争環境が続くものの、販売数量増・原価低減により収益改善の取組を継続。

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高　+104 億円　営業利益　+7 億円

2026©TAIHEIYO CEMENT

2. 2026年度第2四半期実績

③資源、環境事業、建材・建築土木、その他

（単位：百万円）

		2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減	主要な増減内容（純増減）
資源	売上高	45,303	**46,421**	+1,118	骨材は販売数量減の一方で北海道地区での特需により堅調に推移、鉱産品は販売数量減。各種コストアップ分の販売価格への転嫁が浸透
	営業利益	5,190	**5,511**	+320	
環境	売上高	39,909	**43,727**	+3,818	リニア建設発生土中継業務は工事計画の影響により取扱量が減少したものの、石炭灰処理や原料系廃棄物処理は堅調に推移
	営業利益	4,516	**4,845**	+329	
建材・ 建築土木	売上高	21,470	**20,876**	▲594	ALC（軽量気泡コンクリート）及び建築・土木材料の販売が低調に推移したことに加え、運賃や人件費等の各種コストアップの影響を受けた
	営業利益	917	**151**	▲765	
その他	売上高	35,471	**40,009**	+4,538	
	営業利益	1,103	**1,316**	+213	

2026©TAIHEIYO CEMENT

2.　2026年度第2四半期実績

（２）連結損益計算書

（単位：百万円）

	2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減
売上高	438,141	**469,278**	+31,137
営業利益	32,853	**30,318**	▲2,535
営業外損益	93	**▲1,593**	▲1,685
経常利益	32,946	**28,726**	▲4,220
特別損益	▲939	**17,969**	+18,908
税金等調整前中間純利益	32,008	**46,695**	+14,687
法人税等	6,906	**8,579**	+1,673
非支配株主に帰属する中間純利益	616	**1,367**	+751
親会社株主に帰属する中間純利益	24,485	**36,748**	+12,263

2026©TAIHEIYO CEMENT

2. 2026年度第2四半期実績

（３）連結貸借対照表

（単位：百万円）

		2026年3月末	2026年9月末	増減
流動資産	現金及び預金	63,719	**76,851**	+13,132
	受取手形、売掛金及び契約資産	186,473	**198,187**	+11,714
	棚卸資産	137,238	**149,995**	+12,757
	その他	25,171	**22,097**	▲3,074
	流動資産　計	412,601	**447,130**	+34,529
固定資産	有形固定資産	749,158	**830,147**	+80,989
	無形固定資産	43,516	**105,106**	+61,591
	投資その他の資産	273,787	**267,870**	▲5,917
	固定資産　計	1,066,461	**1,203,123**	+136,662
資産合計		1,479,061	**1,650,253**	+171,192

		2026年3月末	2026年9月末	増減
負債	流動負債	416,902	**445,584**	+28,682
	固定負債	349,922	**459,631**	+109,709
	負債合計	766,824	**905,215**	+138,391
純資産	株主資本　資本金	86,174	**86,174**	-
	株主資本　資本剰余金	49,493	**49,682**	+188
	株主資本　利益剰余金	432,913	**463,356**	+30,443
	株主資本　自己株式	▲21,516	**▲30,586**	▲9,070
	株主資本合計	547,064	**568,625**	+21,561
	その他の包括利益累計額	133,505	**139,794**	+6,289
	非支配株主持分	31,668	**36,618**	+4,950
	純資産合計	712,237	**745,038**	+32,801
負債純資産合計		1,479,061	**1,650,253**	+171,192

	2025年12月末	2026年6月末	増減
（為替）期末レート（円/$）	156.6	**162.4**	+5.8

	2026年3月末	2026年9月末	増減
有利子負債（百万円）	389,767	**504,291**	+114,524

2026©TAIHEIYO CEMENT

2.　2026年度第2四半期実績

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2025年度 第2四半期	2026年度 第2四半期	増減
営業キャッシュ・フロー*	46,744	**47,134**	+389
投資キャッシュ・フロー	▲48,574	**▲117,005**	▲68,431
フリー・キャッシュ・フロー	▲1,830	**▲69,871**	▲68,042
財務キャッシュ・フロー	8,222	**83,454**	+75,232
*うち、減価償却費・のれん償却費	33,863	**35,259**	+1,396

2026©TAIHEIYO CEMENT

3. 2026年度 業績予想

2026©TAIHEIYO CEMENT

3. 2026年度 業績予想

《前提条件》

- 2026年度業績予想の前提は以下の通り

	2025年度実績	2026年度予想	増減
セメント国内需要（万t）	3,053	**2,900**	▲153
国内輸入石炭等平均調達価格（C&F $/t）	130	**150**	+20
為替平均レート（円/$）	149.6	**158.0**	+8.4

（感応度　営業利益影響額：為替が１円円安で▲0.3億円）

《業績予想サマリ》

- 中東情勢影響は当年度通期に渡ると想定
- 国内セメント事業は、トクヤマ社からの営業権譲受影響を下期から取り込み販売数量増加を見込むが、中東情勢によるトクヤマ買収効果の減少、コスト増加の影響があり増収減益
- 米国は生コン事業買収効果を下期から取り込むが買収効果減少、ベトナム並びに厳しい状況が続くフィリピンの業績改善を見込み、海外子会社等で増収増益

2026©TAIHEIYO CEMENT

3. 2026年度 業績予想

（1）連結損益計算書

（単位：億円）

	2025年度実績	2026年度予想	増減
売上高	8,984	**10,100**	+1,116
営業利益	746	**630**	▲116
営業外損益	5	**▲75**	▲80
経常利益	751	**555**	▲196
特別損益	▲306	**140**	+446
税金等調整前当期純利益	445	**695**	+250
法人税等	176	**165**	▲11
非支配株主に帰属する当期純利益	15	**20**	+5
親会社株主に帰属する当期純利益	254	**510**	+256

2026©TAIHEIYO CEMENT

3. 2026年度 業績予想

（2）セグメント情報

（単位：億円）

		売上高			営業利益		
		2025年度 実績	2026年度 予想	増減	2025年度 実績	2026年度 予想	増減
セメント	国内	3,367	**3,630**	+263	280	**130**	▲150
	海外子会社等	3,312	**3,920**	+608	214	**244**	+30
	計	6,679	**7,550**	+871	493	**374**	▲119
資源		909	**950**	+41	100	**105**	+5
環境		818	**900**	+82	93	**98**	+5
建材・建築土木		434	**450**	+16	19	**4**	▲15
その他		805	**980**	+175	42	**55**	+13
計		9,645	**10,830**	+1,185	747	**636**	▲111
内部消去		▲661	**▲730**	▲69	▲1	**▲6**	▲5
連結		8,984	**10,100**	+1,116	746	**630**	▲116

2026©TAIHEIYO CEMENT

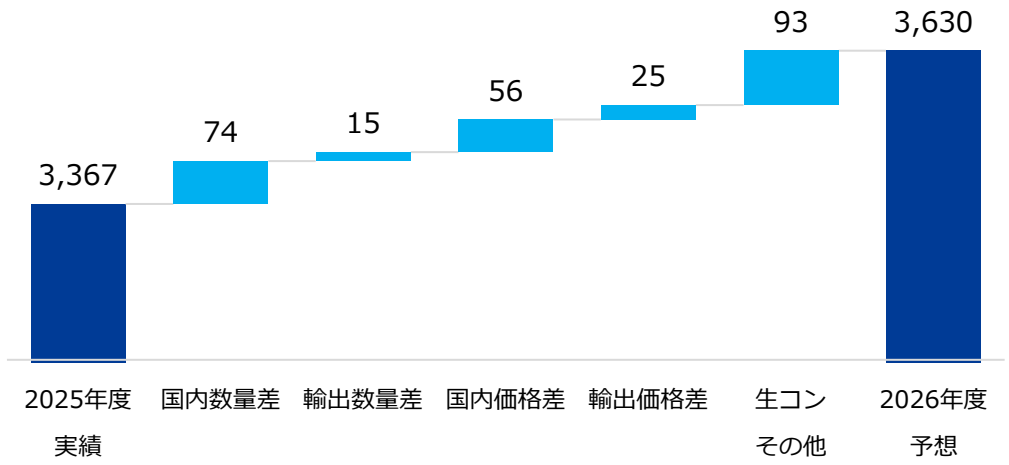
3．2026年度 業績予想

①セメント国内

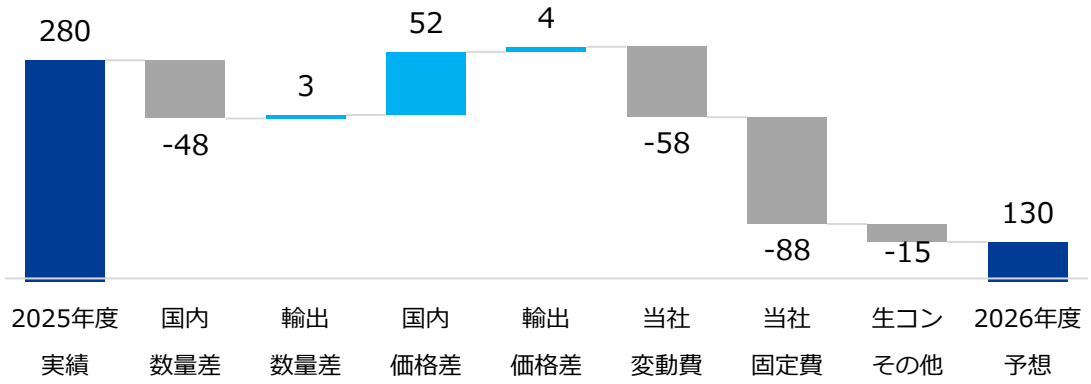
	2025年度実績	2026年度予想	増減
販売数量（千t）			
国内	11,173	**11,600**	+427
輸出	3,320	**3,600**	+280
売上高（億円）	3,367	**3,630**	+263
営業利益（億円）	280	**130**	▲150

- 国の防衛関係工事や能登の復興需要など新たな需要も見込まれる一方、労務費や資材コスト上昇傾向に加え、生コン協同組合の週休二日制導入が更に進むと見込まれ国内需要減少。
- 従来の当社販売数量は前期比減を見込むが、トクヤマ社からの営業権譲受分を含めて前期比増。中東情勢影響によるコスト上昇、固定費増加により営業利益減。

売上高（億円）



営業利益（億円）



※トクヤマ営業権譲受影響は、“生コンその他”に含めております。

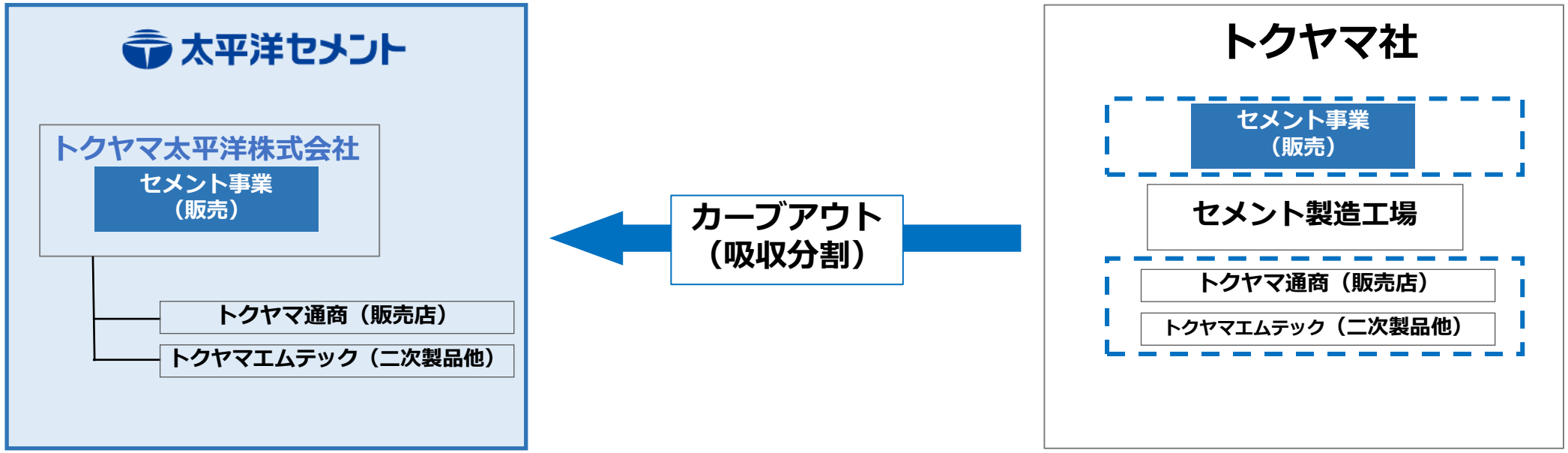
2026©TAIHEIYO CEMENT

《参考》トクヤマ社セメント営業権の取得

トクヤマ社セメント営業権の取得～国内成長投資の着実な実行～

2026年6月25日　公正取引委員会より、排除措置命令を行わない旨の通知書受領
（クリアランス完了）
10月1日　トクヤマ社と契約締結・トクヤマ太平洋株式会社事業開始

営業権取得のストラクチャー



・トクヤマ社が運営するセメント事業の内、セメント販売事業を当社が取得
・対象事業を受皿会社にカーブアウトし、受皿会社の株式を当社がトクヤマ社より譲受

2026©TAIHEIYO CEMENT

3．2026年度 業績予想

②海外子会社等

《米国》

	2025年度 実績	2026年度 予想	増減
セメント（千t）	5,888	**5,898**	+10
生コン（千cy）	4,722	**6,034**	+1,312
骨材（千t）	12,246	**11,467**	▲779
売上高（億円）	2,825	**3,336**	+511
売上高（百万$）	(1,888)	(2,108)	(+220)
営業利益（億円）	267	**244**	▲23
営業利益（百万$）	(178)	(154)	(▲24)

- 金利高止まりによる民間部門の減速や中東情勢による燃料費アップ等の影響を受けた。需要回復は2027年半ば以降緩やかに進むと想定。
- セメントの販売数量は前期並み、値上げやコスト削減に取り組む。
- 生コン事業は下期から買収効果により販売数量増を見込む。既存事業は主に北西部がプロジェクト遅延等の影響を受けたほか、買収事業も南カリフォルニア地区中心に住宅需要減速の影響を受け、初年度買収効果は想定を下回る見込み。

《アジア他》（連結子会社単純合算）

	2025年度 実績	2026年度 予想	増減
セメント（千t）	7,289	**7,758**	+469
売上高（億円）	549	**625**	+77
営業利益（億円）	▲37	**18**	+55

- （ベトナム）堅調な国内需要を背景とした国内販売数量増に加え、中東情勢の影響等によるコストアップについては価格転嫁に取り組む。
- （フィリピン）売価の改善とコスト削減の取り組み徹底により損益改善を見込むが、中東情勢の影響によるコストアップもあり、引き続き厳しい状況。価格転嫁とコスト削減の取組は継続。

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高　+200　億円　営業利益　+14　億円

2026©TAIHEIYO CEMENT

4. 株主還元

2026©TAIHEIYO CEMENT

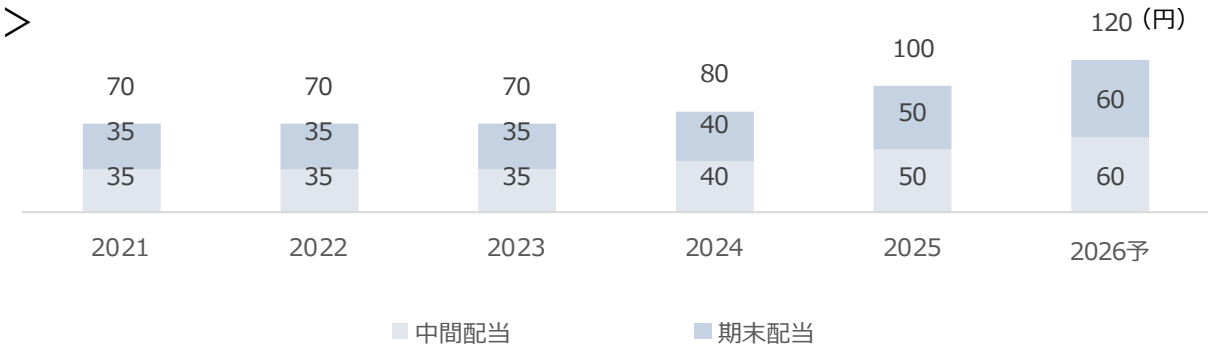
4. 株主還元

- 2026年度は、20円増の120円/株（中間配当60円/株含む）予定
- ２６中計3年間の総還元性向は、43.7%を見込む

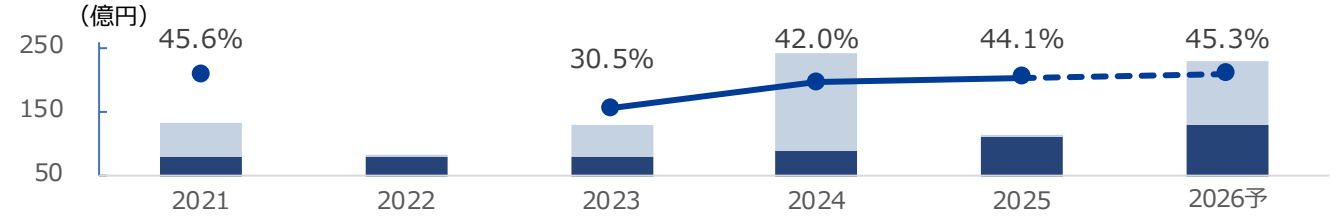
《26中計株主還元方針》

総還元性向　33%以上
安定配当の継続
**　１株当たりの配当額　80円以上**
機動的な自己株式の取得

＜配当＞



＜総還元＞



	2021	2022	2023	2024	2025	2026予
自己株式取得	50	0	50	150	0	100
配当金総額	82	82	82	91	112	131
総還元性向	45.6%		30.5%	42.0%	44.1%	45.3%

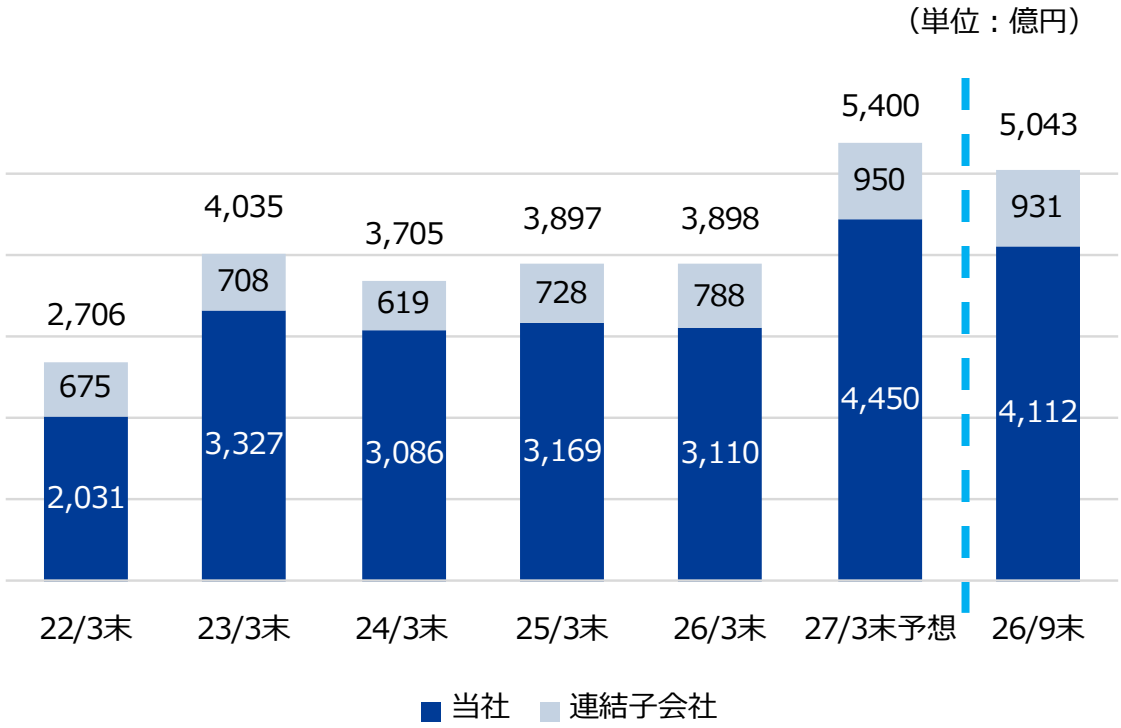
2026©TAIHEIYO CEMENT

Appendix（参考資料）

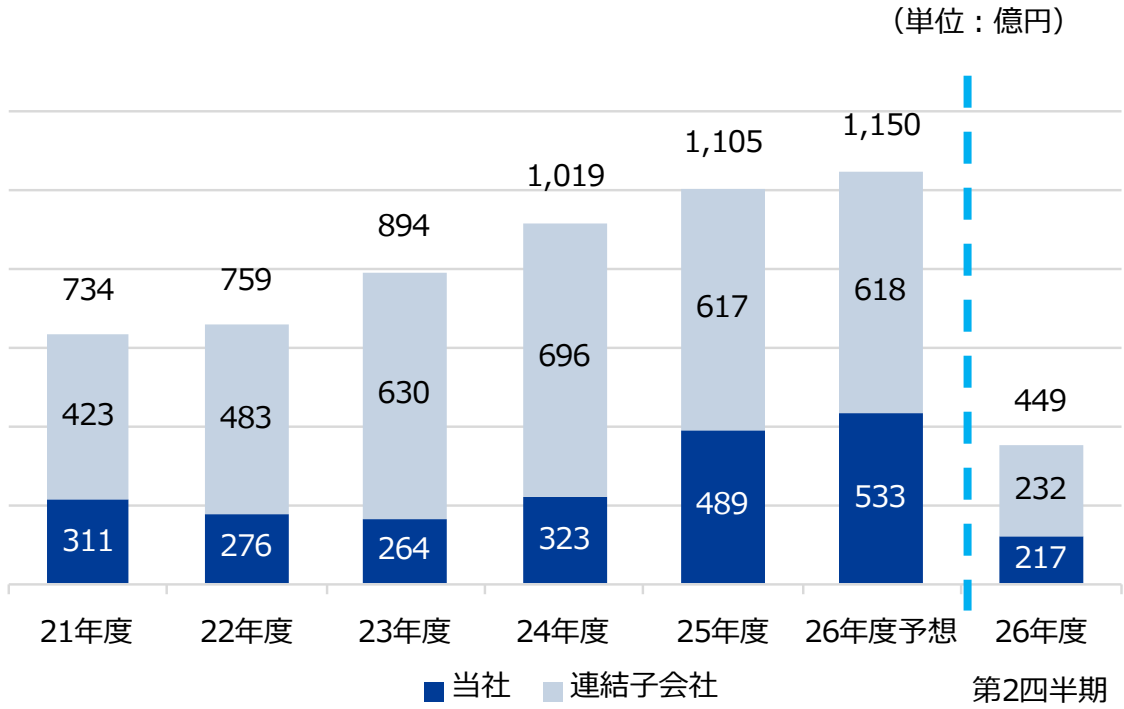
2026©TAIHEIYO CEMENT

推移データ

（1）有利子負債



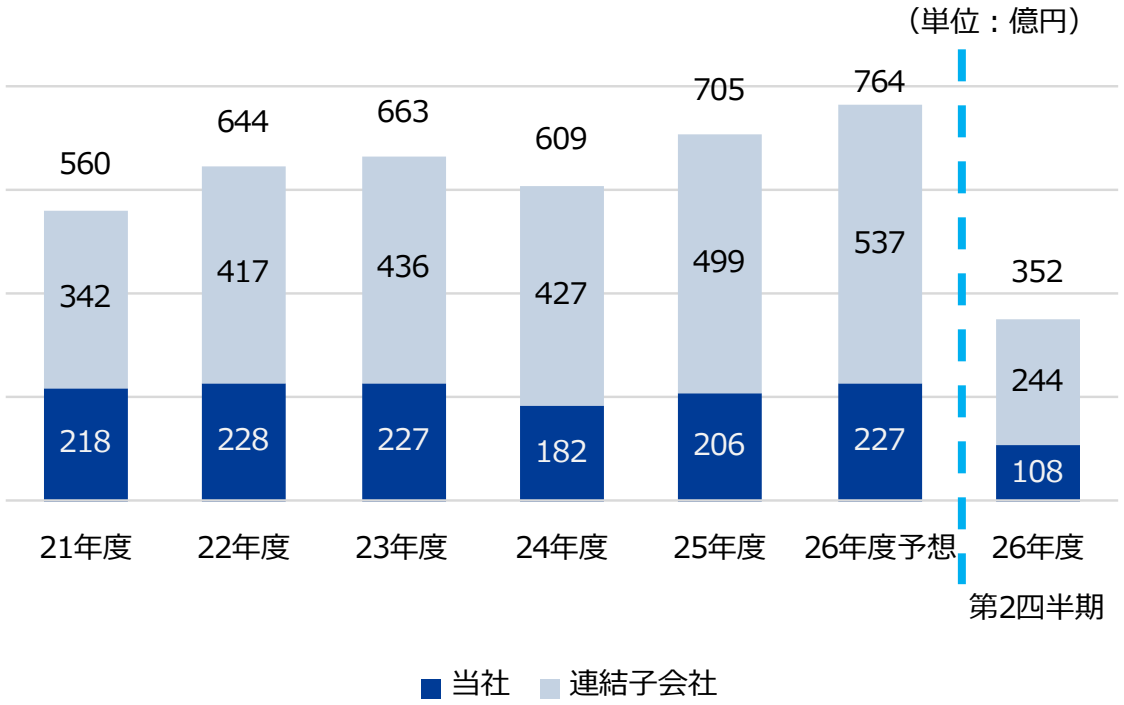
（2）設備投資



2026©TAIHEIYO CEMENT

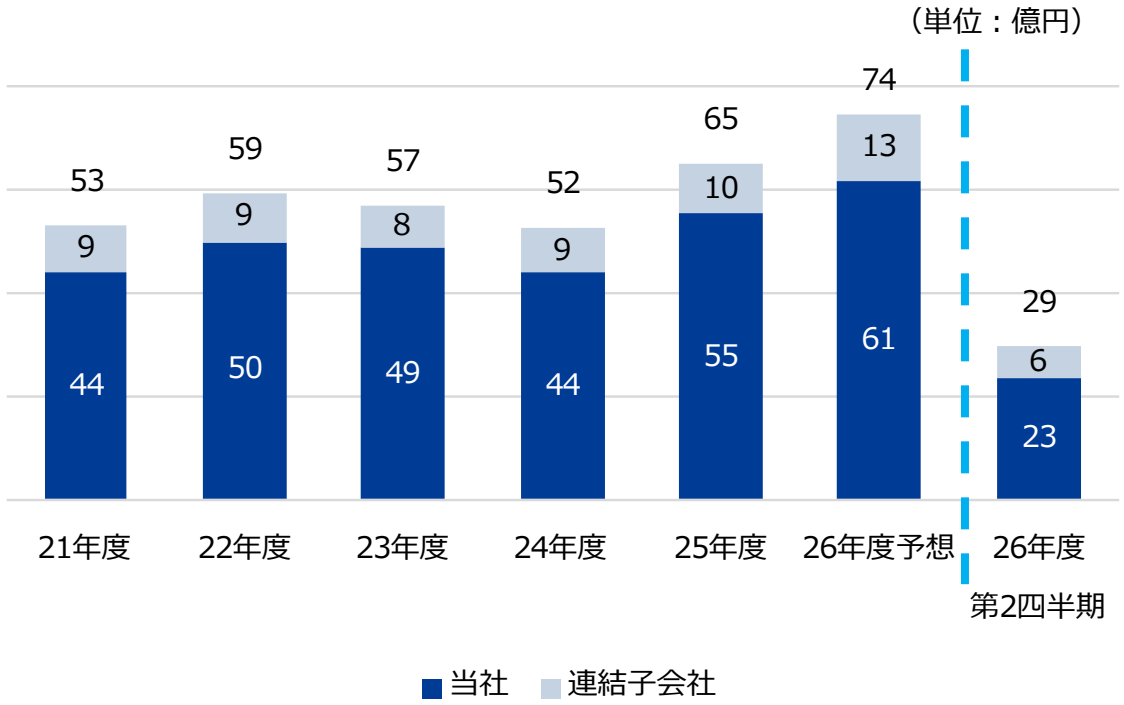
推移データ

（3）減価償却費



※2024年度より償却方法変更（定率法→定額法）

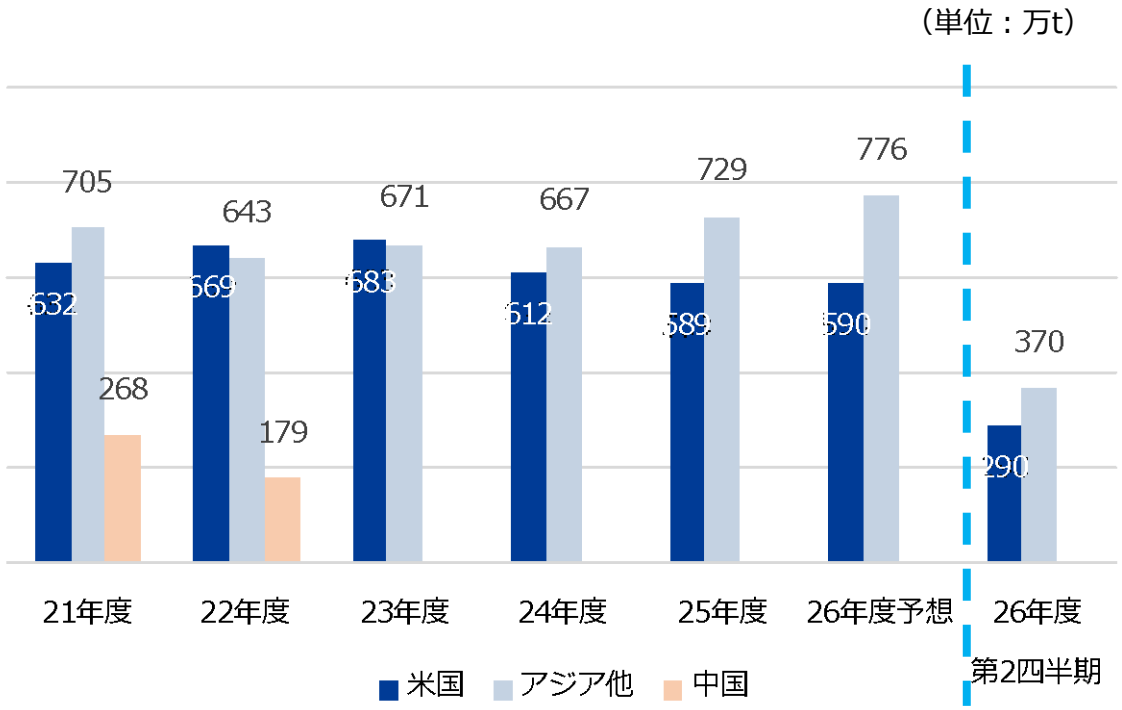
（4）研究開発費



2026©TAIHEIYO CEMENT

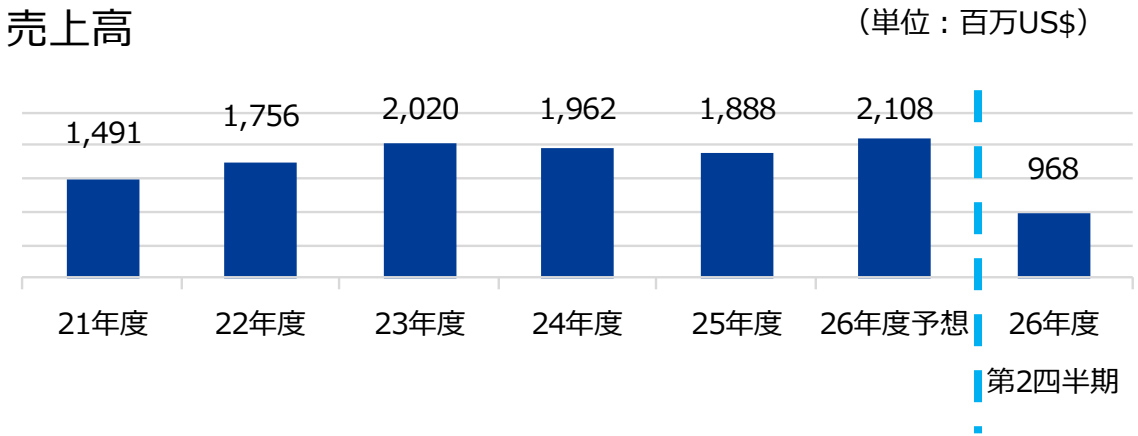
推移データ

（5）海外子会社セメント販売数量
（連結子会社単純合算）

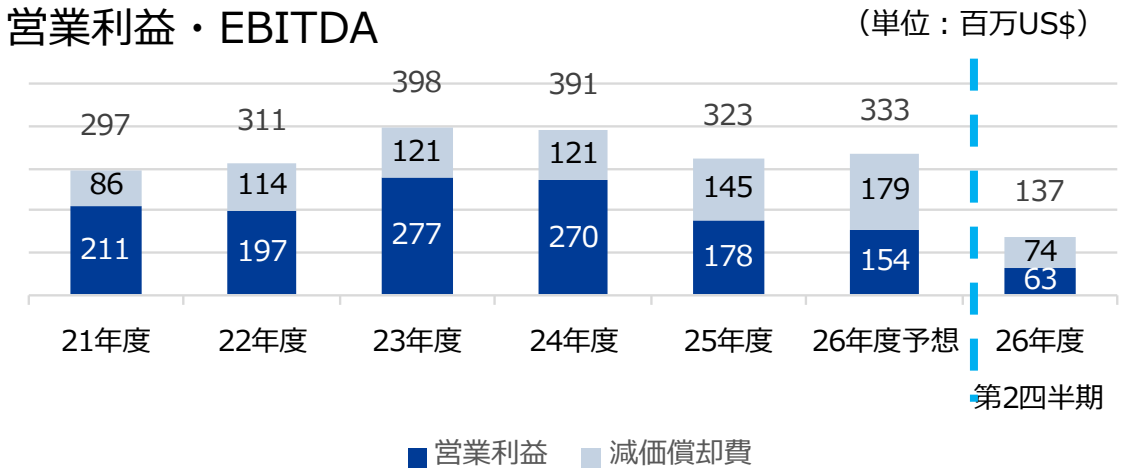


（6）米国事業

売上高



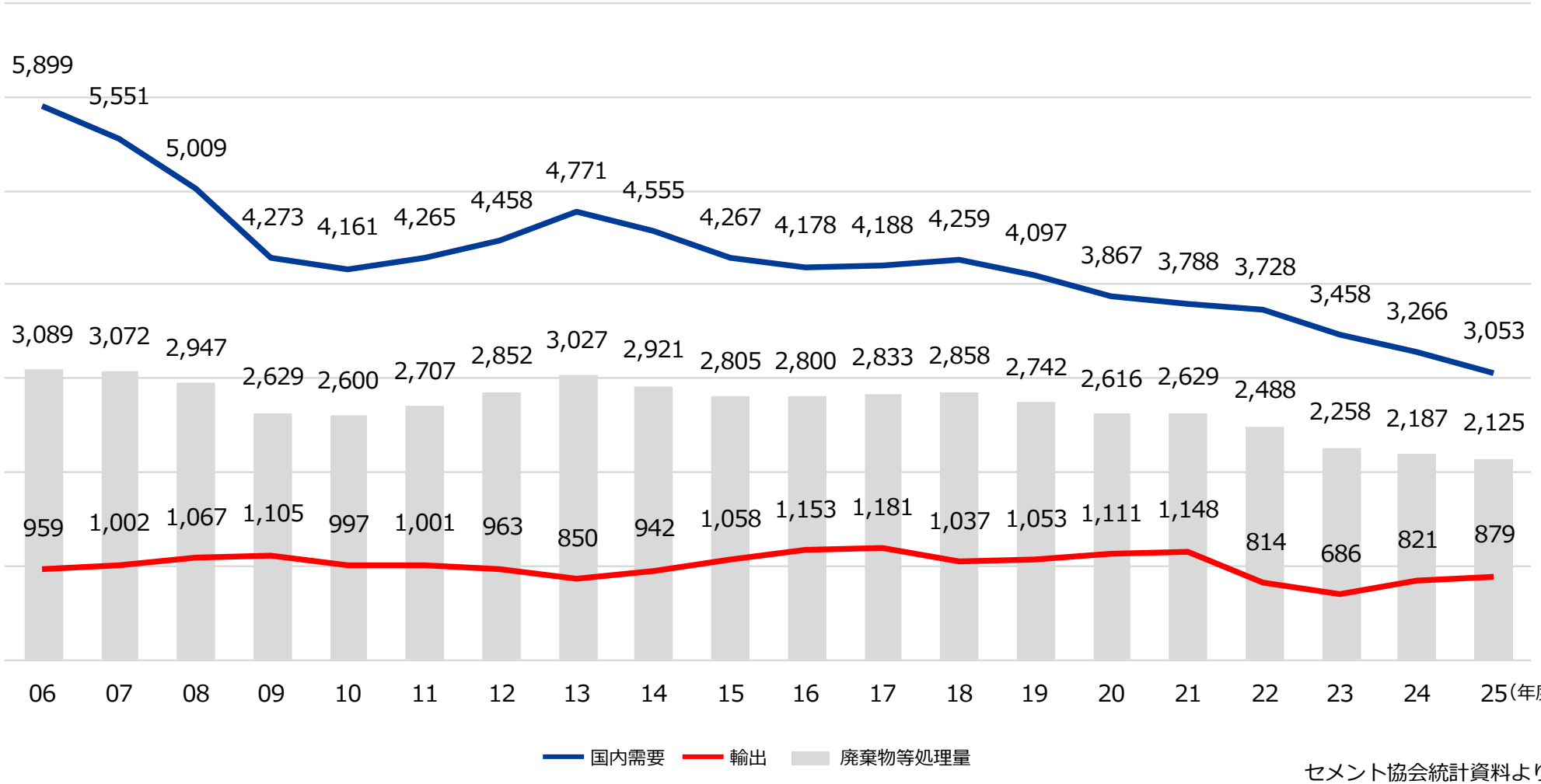
営業利益・EBITDA



2026©TAIHEIYO CEMENT

《参考》セメント国内需要・輸出数量・廃棄物等処理量

セメント国内需要・輸出数量・廃棄物等処理量（万t）



セメント協会統計資料より作成

2026©TAIHEIYO CEMENT

保有株式の売却

保有株の売却

～２６中計期間～

国内上場株式
約２０％※相当の売却を実行予定

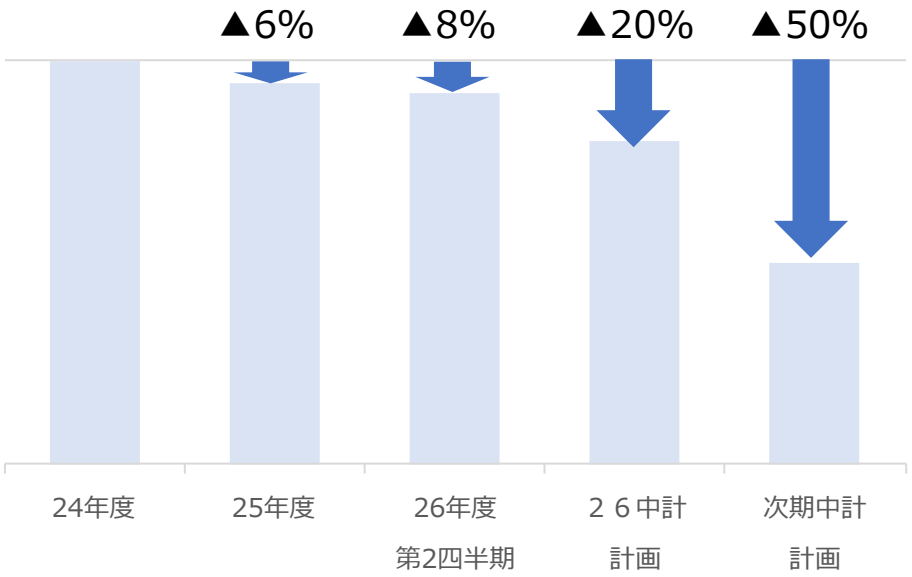
～次期中計期間～

国内上場株式
累計で約５０％※相当の売却を実行予定

※25年3月末帳簿価額ベース

【26年度第2四半期までの実績】
エーアンドエーマテリアル他一部売却

２６中計期間予定約20%のうち約8%実行



2026©TAIHEIYO CEMENT

2026年度 業績予想

《前提条件》

- 2026年度業績予想見直しの前提は以下の通り

	2026年度 前回予想	2026年度 今回予想	増減
セメント国内需要（万t）	2,900	**2,900**	-
国内輸入石炭等平均調達価格（C&F $/t）	155	**150**	▲5
為替平均レート（円/$）	157.0	**158.0**	+1.0

《業績予想見直しサマリ》

- 中東情勢影響は当年度通期に渡ると想定
- 国内セメント事業は、トクヤマ社からの営業権譲受影響を下期から取り込み販売数量増加を見込むが、中東情勢によるトクヤマ買収効果の減少、コスト増加の影響があり増収減益
- 米国は生コン事業買収効果を下期から取り込むが買収効果減少、ベトナム並びに厳しい状況が続くフィリピンの業績改善を見込み、海外子会社等で増収増益

2026©TAIHEIYO CEMENT

2026年度 業績予想

（１）連結損益計算書

（単位：億円）

	2026年度 前回予想	2026年度 今回予想	増減
売上高	10,270	**10,100**	▲170
営業利益	760	**630**	▲130
営業外損益	▲60	**▲75**	▲15
経常利益	700	**555**	▲145
特別損益	135	**140**	+5
税金等調整前当期純利益	835	**695**	▲140
法人税等	190	**165**	▲25
非支配株主に帰属する当期純利益	15	**20**	+5
親会社株主に帰属する当期純利益	630	**510**	▲120

2026©TAIHEIYO CEMENT

2026年度 業績予想

（2）セグメント情報

（単位：億円）

		売上高			営業利益		
		2026年度 前回予想	2026年度 今回予想	増減	2026年度 前回予想	2026年度 今回予想	増減
セメント	国内	3,680	**3,630**	▲50	170	**130**	▲40
	海外子会社等	3,970	**3,920**	▲50	317	**244**	▲73
	計	7,650	**7,550**	▲100	487	**374**	▲113
資源		960	**950**	▲10	106	**105**	▲1
環境		920	**900**	▲20	104	**98**	▲6
建材・建築土木		470	**450**	▲20	19	**4**	▲15
その他		970	**980**	+10	46	**55**	+9
計		10,970	**10,830**	▲140	762	**636**	▲126
内部消去		▲700	**▲730**	▲30	▲2	**▲6**	▲4
連結		10,270	**10,100**	▲170	760	**630**	▲130

2026©TAIHEIYO CEMENT

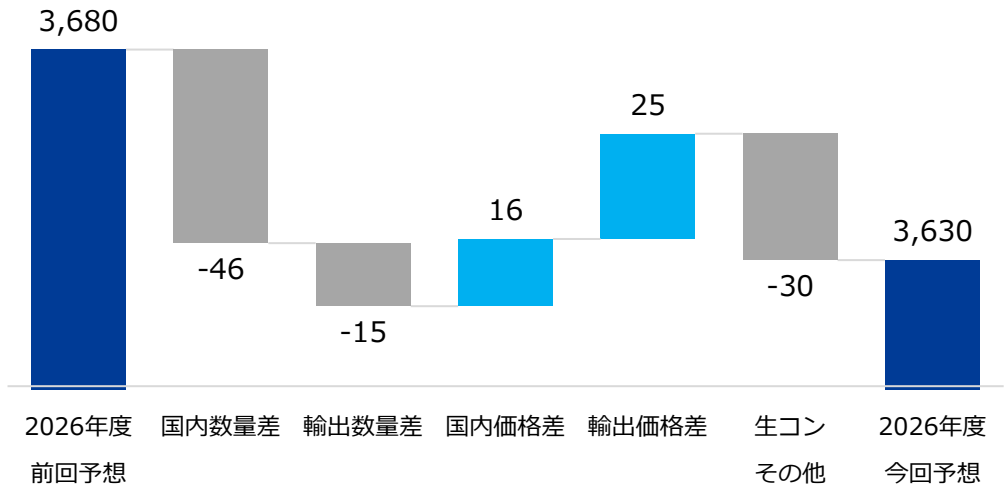
2026年度 業績予想

①セメント国内

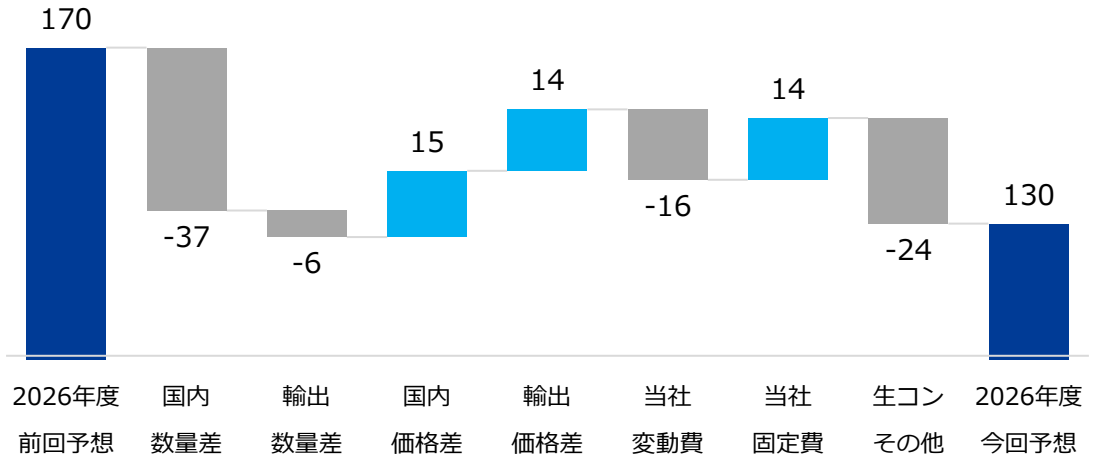
	2026年度 前回予想	2026年度 今回予想	増減
販売数量（千t）			
国内	11,800	**11,600**	▲200
輸出	3,800	**3,600**	▲200
売上高（億円）	3,680	**3,630**	▲50
営業利益（億円）	170	**130**	▲40

- 販売数量は当初予想より減少を見込む。
- 販売数量減少の影響、トクヤマ社からの営業権譲受分は中東情勢の影響によるコスト上昇もあり、営業利益減。

売上高（億円）



営業利益（億円）



※トクヤマ営業権譲受影響は、前回予想では“数量差異”に含めておりましたが、今回予想から“生コンその他”に含めております。

2026©TAIHEIYO CEMENT

2026年度 業績予想

②海外子会社等

《米国》

	2026年度 前回予想	2026年度 今回予想	増減
セメント（千t）	5,937	**5,898**	▲39
生コン（千cy）	6,401	**6,034**	▲367
骨材（千t）	12,187	**11,467**	▲721
売上高（億円）	3,403	**3,336**	▲67
売上高（百万$）	(2,168)	(2,108)	(▲60)
営業利益（億円）	326	**244**	▲83
営業利益（百万$）	(208)	(154)	(▲54)

- 需要回復は2027年半ば以降緩やかに進むと想定。
- 生コン事業は下期から買収効果により販売数量増を見込むが、民間部門の需要減速の影響を受け初年度買収効果は想定を下回る見込み。
- 骨材は北西部の需要低迷による減少。

《アジア他》（連結子会社単純合算）

	2026年度 前回予想	2026年度 今回予想	増減
セメント（千t）	7,674	**7,758**	+84
売上高（億円）	600	**625**	+26
営業利益（億円）	10	**18**	+8

- （ベトナム）堅調な国内需要を背景とした国内販売数量増に加え、中東情勢の影響等によるコストアップについては価格転嫁に取り組む。
- （フィリピン）売価の改善とコスト削減の取り組み徹底により損益改善を見込むが、中東情勢の影響によるコストアップもあり、引き続き厳しい状況。価格転嫁とコスト削減の取組は継続。

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高　+25 億円　営業利益　+2 億円

2026©TAIHEIYO CEMENT

循環経済形成のキープレイヤー

当社グループは、カーボンニュートラルへの着実な移行を進めながら、
国土強靭化のための重要資材のサプライヤーとして、また、
循環経済形成のキープレイヤーとしての役割を果たしています。

**現在、わが国のセメント産業の
廃棄物・副産物の使用量は、
国内循環利用量の約10%に相当します。**

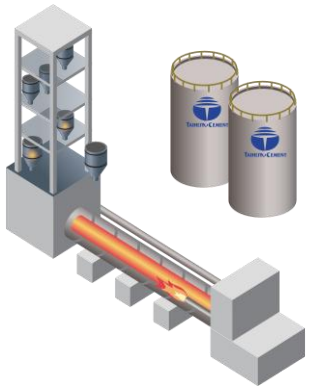
廃棄物・副産物の利用

- 石炭灰
- 各種産業廃棄物
- 都市ごみ
- 上水
- 高炉スラグ
- 建設発生土
- 焼却残さ
- 下水汚泥

など

**循環経済形成の
キープレイヤー**

**当社グループでは、
地域社会や他産業で発生する
廃棄物・副産物を
原燃料として使用し、
リサイクル率４０%以上の
セメントを製造**



**国土強靭化のための
重要資材供給**

**社会インフラ・
生活環境整備に利用**

- 道路
- 橋梁
- 学校
- ダム
- 地下施設
- 鉄道
- トンネル
- 病院
- 堤防
- 港湾
- 住宅
- 商業ビル
- 護岸

など

2026©TAIHEIYO CEMENT

カーボンニュートラル戦略　ロードマップ案

排出原単位20%以上削減（2000年比）

Carbon Neutral

2026　2030　2050

Carbon Neutral 対策

革新技術開発

既存技術：CO_2低減

既存技術：CO_2吸収

革新的アプローチ　～世界をリードする技術開発～

派生技術の早期展開

- ➢メタン焼成
- ➢酸素富化燃焼

- ➢CO_2回収（C2SPキルン®）
- ➢CCU（メタネーション）
- ➢CCU（炭酸塩化）
- ➢CCS（精製・出荷技術）

漸進的アプローチ　～既存技術の深化＆新技術の横展開～

- ➢混合ｾﾒﾝﾄ新規格化（利用拡大）
- ➢新型粉砕助剤の開発

即効性アプローチ　～既存技術最大活用～

- ➢混合ｾﾒﾝﾄへのｼﾌﾄ加速
- ➢化石燃料の代替促進

CNモデル事業

屋久島町ゼロカーボンアイランド構想への協力

デイ・シイCNモデル工場化の推進

激甚災害対策

保有技術の適用、新技術開発　例）地盤改良材、世界最高強度コンクリート等

海外

即効性アプローチ　～既存技術最大活用～

- ➢混合材調達体制整備

2026©TAIHEIYO CEMENT

外部評価

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
（GenDi J）

MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index

S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数

CDP
［気候変動でB、水でBを取得］
［サプライヤーエンゲージメント・リーダーに選定］

JCR
［2026年A+を取得］

R&I
［2026年Ａを取得］

プラチナくるみん認定
［2023年８月に取得］

健康経営優良法人認定制度
［2023年から連続して取得］

人的資本経営品質2023
［2024年2月シルバーに選定］

SOMPOサステナビリティ・インデックス
［2026年6月に選定］

2026©TAIHEIYO CEMENT

トピックス

2026年6月16日	CDPサプライヤーエンゲージメント評価において、最高評価の「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に３年連続で選定
2026年6月16日	インドネシアから米国向けセメント輸出を開始
2026年7月21日	固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上、ならびに業績予想の修正に関するお知らせ
2026年7月31日	「日経モート株指数」（愛称：もしバフェ）の構成銘柄に初選定
2026年9月10日	太平洋セメントコラボカフェ「CEMEN TALK CAFE」開催のお知らせ
2026年9月25日	上白石萌音さんが出演する太平洋セメントの第２弾ＣＭ「循環型社会」篇、「グローバル」篇、10月1日より放映開始！
2026年9月28日	太平洋セメントグループにおける「カスタマーハラスメントに対する基本方針」を制定
2026年9月30日	トクヤマ太平洋株式会社の事業開始に関するお知らせ
2026年10月6日	「太平洋セメントレポート2026」（統合報告書）日本語版を公開

2026©TAIHEIYO CEMENT

本資料に記載されている将来の見通しに関する内容につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断したものであり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、記載されている将来の予想数値を当社として確約あるいは保証するものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2026©TAIHEIYO CEMENT


TAIHEIYO CEMENT